

データ工学と情報マネジメント論文特集の発行にあたって



データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長 豊田 正史

データベース技術に代表されるデータ工学分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われている。電子情報通信学会データ工学研究専門委員会が共催しているデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIMフォーラム）では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っている。こうした背景を踏まえ、昨年引き続き、情報・システムソサイエティと文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント論文特集」を企画するに至った。DEIMフォーラムで発表された研究を更に発展させた論文、あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集したところ、14編の応募があり、厳正な査読の結果、6編の論文を採録することとなった。

今回の特集では、データ工学と情報マネジメントの研究分野より、ストリームデータ処理、Webマイニング、情報検索、データマイニングに関して基礎技術から応用にわたる幅広いトピックの論文が採録されている。この特集が、データ工学と情報マネジメントに関する研究更なる発展、並びに本コミュニティから生ま

れた研究成果の社会還元の一契機となれば幸いである。

本特集を編集するにあたり、厳しいスケジュールにもかかわらず丁寧な査読をして下さった査読委員の方々、並びに編集作業に携わって下さった編集委員の方々に厚く御礼申し上げます。特に、編集幹事の太田学先生（岡山大学）、合田和生先生（東京大学）、上田高德様（日本IBM）には、編集作業全般に渡り多大な御尽力を頂いた。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。

最後に、本特集ならびにDEIMフォーラムをはじめ、データ工学と情報マネジメント分野の研究活動が今後益々発展していくことを強く祈念するものである。

とよだ まさし
豊田 正史（正員） 東京大学生産技術研究所准教授。1994年東京工業大学理学部情報科学科卒。1999年東京工業大学大学院情報理工学研究科博士後期課程修了。博士（理学）。同年科学技術振興事業団計算科学技術研究員。2001年より東京大学生産技術研究所学術研究支援員、特任助教授、助教授を経て現職に至る。ウェブマイニング、実世界ビッグデータ分析、ユーザインタフェースの研究に従事。2003年日本データベース学会論文賞、2010年日本データベース学会上林奨励賞、2016年日本データベース学会若手功績賞。現在電子情報通信学会データ工学研究専門委員会副委員長。これまでにWWW、KDD、ICDM等のPC委員、IEEE Big Dataの運営委員を務める。情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、ACM、IEEE CS各会員。

データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長	豊田 正史
幹事	太田 学・合田 和生・上田 高德
委員	牛尼 剛聡・大島 裕明・奥 健太・小山 聡
	北山 大輔・熊本 忠彦・清水 敏之・鷹野 孝典
	戸田 浩之・野宮 浩揮・平手 勇宇・藤原 靖宏
	山口 実靖・吉田 尚史・義久 智樹